

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	37 -	事業名	公害対策事業	担当部課	くらし文化部環境課
------	------	-----	--------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	1	万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	3	公害のないまちをつくる	款	4	衛生費
		施策の進め方	2	都市生活型公害への対策	項	3	公害対策費
	まちづくり 行程表	フラッグ	3	「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	目	1	公害対策費
		政策分類	-		大事業	2	公害対策事業
	その他(関係法令、要綱等)	環境基本法、愛知県環境基本条例 等					
事業開始の背景、経緯等	第二次大戦後の産業の復興と急速な工業化に伴い、大都市を中心に公害問題が発生し、近年では、自動車走行に伴う大気汚染や生活排水による水質汚濁に代表される都市・生活型公害が問題となってきている。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民騒音・振動・水質等の定期的な測定を行う。又、環境汚染事故発生時に対処するため、緊急対応の環境測定を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) ・騒音、振動、水質、悪臭、土壌汚染					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・市民の健康の保全と生活環境保全					
	事業を構成する事務事業	① 公害対策事務事業	現状維持	④			
	② 公害対策整備事業	改善・見直し	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	予算			3,235	3,238	3,734
決算					2,157	2,125	2,934	
人件費(B)	千円	決算			2,291	1,712	4,559	
			総コスト(A)+(B)	千円	決算		4,448	3,837

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	A 香流川におけるBOD値	mg/l	目標		8mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l以下
			実績		8mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l以下	
	B 県道力石名古屋線等価騒音レベル	昼間・夜間dB	目標		75・70dB以下	75・70dB以下	75・70dB以下	75・70dB以下	75・70dB以下
実績				71・66dB	72・67dB	71・67dB	72・67dB		
C		目標							
		実績							

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 微生物が有機物(汚れ)を食べるために使った酵素量で、水質汚濁の指標である。

B 自動車騒音に係る環境基準の達成状況を把握する指標。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 生活環境の多様化に伴い、環境問題も複雑化している。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 香流川の水質については、環境基準を超過していない。また、自動車騒音については、要請限度を超過していない。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 緊急時に対応するための専門知識や危機管理能力の不足。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 定期的な水質検査と主要事業所の排水調査、自動車騒音測定を継続していく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 緊急時に対応できるよう職員の研修や事例研究に努めていく。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		公害対策事業									
番号	①	事務事業名	公害対策事務事業	款	4	項	3	目	1	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度			—			終了（予定）年度	—					

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川やため池の水質検査及び主要事業所の排水調査。</li> <li>幹線道路における自動車騒音測定</li> <li>緊急時における環境測定</li> </ul>
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境を保全するため</li> </ul>

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		3,235	3,238	3,734	3,668
		決算		2,157	2,125	2,934	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① 環境保全対策事業委託						2,878	千円
② 消耗品費						46	千円
③ 県フロン回収システム推進協議会負担金						10	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
香流川におけるBOD値	mg/l	目標	8mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l以下
		実績	8mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l以下	8mg/l以下
県道力石名古屋線等騒音レベル	dB	目標	75・70 dB以下	75・70 dB以下	75・70 dB以下	75・70 dB以下	75・70 dB以下
		実績	71・66 dB	72・67 dB	71・67 dB	72・67 dB	
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
河川やため池の水質検査及び主要事業所の排水調査。幹線道路における自動車騒音測定。緊急事故発生時における環境測定調査。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

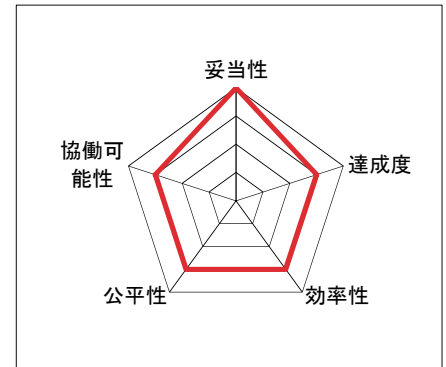
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
生活行動の多様化や住宅開発、大型商業施設開設に伴う自動車通行量の増加に伴う新たな環境問題の発生。

## 5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
—

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
定期的な水質検査や騒音測定を行い、数値化して把握しておくことにより、環境汚染事故にいち早く対応することが可能となる。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
県等の関係機関との連携体制が不十分である。

## 7. 今後の方向性

現状維持

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
定期的な環境測定を継続していくとともに、事故発生時の対応シミュレーションを構築していく。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		公害対策事業										
番号	②	事務事業名	公害対策整備事業		款	4	項	3	目	1	大事業	2	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度		—		終了（予定）年度	—								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 名古屋瀬戸道路と県道力石名古屋線周辺における自動車廃棄ガスの影響を測定。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 光化学スモッグの発生や、悪臭など都市生活型郊外の発生を未然に防ぐため。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算	— —	32 32	37 37	37 0	37
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
①							千円
②							千円
③							千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
光化学オキシダント環境基準超	日	目標	5	5	5	5	5
		実績	5	0	4	—	—
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
平成29年度は未実施。（県が所有する大気汚染測定車を県道力石名古屋線付近に設置して大気汚染の調査を9月の約1ヶ月間実施。県実施事業の支援するもの。）							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

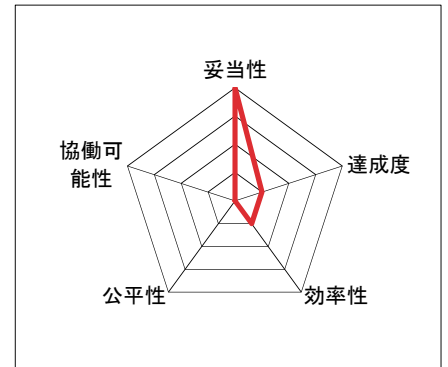
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
大型商業施設やモリコロパークへの来場者が急増し、名古屋瀬戸道路、県道力石名古屋線を通行する自動車が増加してきている。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
—

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	1
効率性	1
公平性	—
協働可能性	—



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
大気状況の定期的な調査を行い数値化することにより、大気汚染にいち早く対応することが可能となる。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
県実施事業であるため、毎年コンスタントに実施することが困難。

## 7. 今後の方向性

### 改善・見直し

【コメント】
(改善の方法、今後の具体的展開など)
大型商業施設の開設やモリコロパークでのイベントなどで、道路通行量が激増しているため、定期的な監視体制が必要となる。 平成29年度は実施しなかったが、平成30年度は平成28年度同様実施していく予定。